



近畿病院図書室協議会のホームページ改修について

寺澤 裕子、井上智奈美
前垣 志穂、増田 徹、松尾 知香

I. はじめに

2013年度に近畿病院図書室協議会（以下、病図協）のホームページを改修した。改修のいきさつと簡単な使用方法について、ホームページとホームページ内にある会員専用ページに分けて紹介する。

II. ホームページ (図1)

病図協の活動を広く知らせるために以下の項目を修正した。

- ・ヘッダ画像
- ・メニューの項目と配列

病図協ホームページの顔になるヘッダ画像は、



図1 病図協ホームページ

てらざわ ひろこ：関西労災病院 図書室
 いのうえ ちなみ：三菱京都病院 図書室
 まえがき しほ：前公立八鹿病院 図書室
 ますだ てつ：藍野大学 中央図書館
 まつお ちか：石切生喜病院 図書室

医療系図書館の団体であることを印象づけたいと考えて作成した。モデルは事務局長の増田さんである。病図協の顔として長く親しんでいただけたと思う。

メニューから会員・非会員の区分をなくし、研修会活動のページ内から「総会」を独立させ、新しく「対外活動」のページを作った。

これらの修正によって病図協の活動への理解を深めるサイト構成にできたと思う。

III. 会員専用ページ

会員専用ページでできること、2012年9月に稼働した改修前の近畿病院図書室協議会会員専用ページでできたこと、問題点と対策、そして改修後の近図雲について紹介する。

1. 会員専用ページについて

会員専用ページは“OPEN PNE”というソフトを使用し、病図協のレンタルサーバ上で運用している。

会員施設の図書館担当者1人に1つ、メールアドレス（以下、PCメール）を使ったアカウントを使いログインして利用する。ここでは会員同士の情報交換、データファイルの閲覧ができる。

データファイルはログインすれば利用でき、情報交換は目的に応じて以下の3つの方法から選べるが、必要に応じて「参加」手続きを行う。

- 1) 特定の目的を持った「コミュニティ」へ参加して「トピックやイベント」に書き込む
- 2) コミュニティとは異なりテーマを限らず書き込める「記事」を使う

記事は公開範囲を“全員、フレンドのみ、非

公開”から選び、公開範囲に応じて読み書きを行う。

3) 会員専用ページに登録している会員宛にメールを送ることができる「メッセージ」機能を使う

これらのうち、一部では新着情報をPCメールで受け取れていた(表1)。

表1 会員専用ページの機能

つながる機能	書き込む機能	PCメール通知
コミュニティ	トピックイベント	設定必要
フレンド	記事	設定可能 ※フレンドのみ
メッセージ	メッセージ	設定必要

2. 改修前の会員専用ページ

1) 概要

掲示板に代わって2012年9月にできたのが会員専用ページである。ここでは会員はあらかじめ作られた「教えて」「お知らせ」などのコミュニティに自発的に参加して情報交換を行っていた。また全会員に知らせたい場合は、記事を全体に公開して書く方法を使っていた。

2) 問題点

寄せられた意見は以下の通りである。

- (1) ホームページと会員専用ページの区別がつきにくい
- (2) ここで何を書いたらいいかわからない
- (3) コミュニティと記事の違いがわからない/どこに何を書いたらいいかわからない
- (4) 会員間で親しみがない
- (5) 全会員の目にふれていない
- (6) マニュアルがない
- (7) 広報活動が不十分
- (8) ページ内を移動した際、現在地がわかりにくい

病図協での利用ルールが定まっていないこと、協議会活動に合わせたサイト構成になっていないこと、必要な利用規約やマニュアルなどが作られていなかったことが問題だった。

3) 改修

(1) ホームページと会員専用ページの区別がつきにくい

違うページに入ったことがわかるようホームページと異なる色やデザインにした。

(2) 会員間で親しみがない

愛称とキャラクターを作成した。

(3) ここで何を書いたらいいかわからない

利用規約とマニュアルを作成した。

(4) コミュニティと記事の違いがわからない/どこに何を書いたらいいかわからない

記事を全体に公開して書いても、フレンドかつ受信設定をしていなければPCメールへの通知も行われず、ログインして見なければ情報を見ることができないことが問題だった。また「教えて」と「お知らせ」に載せる内容を混同するなどコミュニティの立て方にも問題があった。

近図雲の最大の目的は、全員に情報を伝えることだと考え、「全会員が参加する」前提で、会からのお知らせを通知するコミュニティ(公式コミュニティ)と、会員同士の情報交換を目的としたコミュニティ(会員コミュニティ)を設けた。さらに、確認のためだけにログインせずに済むよう新着情報があればPCメールに届く設定を行うことにした。

記事は、公開して書く方法を封じ友達同士の交換日記的な位置づけで残した。公開範囲を“フレンド・非公開”にするよう運用で限定し、名称を「日記」に改めている。(表2)。

表2 近図雲の機能

つながる機能	書き込む機能	PCメール通知
コミュニティ	トピックイベント	公式・会員コミュニティは設定済み
フレンド	日記	移行設定で修正
メッセージ	メッセージ	移行設定で修正

(5) 全会員の目にふれていない

公式コミュニティ、会員コミュニティ、メッセージ、日記は、新しい情報があればPCメールへ通知される設定にした。

(6) マニュアルがない

マニュアルを作成し配布した。ホームページ上には最新版を載せている。

(7) 広報活動が不十分

2014年3月の研修会で説明後、同年3月末に全会員へマニュアル類を送付した。

近図雲への移行設定がまだ行われていない施設に対し、2014年5月から同年7月下旬までの間にメールや電話で呼びかけを行った。

全施設の登録完了後は、公式コミュニティないし会員コミュニティを通じて広報活動を行う予定にしている。また定期的に利用調査を行い、使われていないアカウントをフォローする。

(8) ページ内を移動した際、現在地がわかりにくい

画面左上に現在地の表示を作成した。

3. 近図雲について

1) 名前の由来

正式名称は近畿病院図書室協議会会員専用ページ、愛称は「近図雲」である(図2)。



図2 近図雲トップページ

近図雲は、西遊記に登場する孫悟空の“筋斗雲”にちなんでいる。たとえば困ったときに近図雲に書き込めば、ひとつとびで助けに来てくれる筋斗雲のようにほかの会員からアドバイスを受けられることをイメージした。また、近図雲では会員名簿、研修会資料、会報や会誌のバックナンバーなどをサーバ上に置いており(クラウド化)、近図雲の“雲”はこれにもちな

んでいる。

2) 移行設定

改修後はいくつかの設定変更を会員自身で行う必要が生じた。それらは「利用者をはっきりさせる」「指定されたコミュニティに参加する」「近図雲から発信されるすべてのお知らせをPCメールで受け取る」ことだ。

(1) 利用者をはっきりさせる

近図雲内でのやりとりはニックネームがベースになる。たとえばニックネームを「田中」で設定すると、「どちらの田中さん？」かわからないため、ニックネームは姓名/機関名で表示することにした。

(2) 指定されたコミュニティに参加する

協議会からののお知らせを通知する「公式コミュニティ」と会員同士の情報交換に使用する「会員コミュニティ」に参加しておく必要がある。

(3) 近図雲から発信されるすべてのお知らせをPCメールで受け取る

PCメールで受け取る設定を行うと、いちいち近図雲にアクセスしなくても新着情報の有無あるいは内容を知ることができる。

3) 近図雲の使い方

(1) 病図協活動のお知らせを受け取る(公式コミュニティのトピック)

病図協からののお知らせを通知する場で、おもに事業部単位でトピックを作成する。2014年3月現在は郵送した文書のデータファイルも載せている。病図協の活動への質問や意見、提案などがあれば、公式コミュニティの該当する事業部のトピックへ書き込んでほしい。

(2) 会員からの情報発信、質問などを受け取り、可能ならアドバイスを書き込む(会員コミュニティ)

会員から会員へのお知らせや質問が書き込まれる場である。たとえば研修会などの休憩時間に、あるいは交流会の場などで「ねえねえ、こういうときどうしてる？」と気軽に相談できる場を想定して作った。全会員に知らせたいことなどがあればここへ書き込んでほしい。トピッ

クは自由に立ててかまわないが、同じようなトピックがあればそちらを利用してほしい。

(3) イベント

研修会や総会への参加申込のできる機能だが、2014年5月に不具合が見つかり、運用方法を検討している。

4) データファイルを利用する

データファイル閲覧場所は近図雲書庫と名づけた。研修会資料やフォトレポートに加えて、会員名簿、会報・会誌バックナンバーなどが閲覧できるようになった。

IV. おわりに

病院図書館の担当者は1人勤務が多く、仕事上の悩みにも1人で対処しなければならない場

合がしばしばある。または、なかなか研修会などに参加できない会員施設もあるだろう。そんな時に相談できる場として近図雲は役立つのではないかと考えている。しかし、答えやアドバイスを提供してくれる会員がいなければ成立しない。どうか積極的に書き込みなどを行い、近図雲をよいツールに育ててほしい。

近図雲マニュアルは随時更新してホームページ内の「近図雲」ページに掲載している。また、会員コミュニティサイトに「近図雲へのご質問・ご意見」トピックを作り、利用に関する補足説明を適宜発信している。

最後に、2012年度まで部長をつとめ、近図雲の前身である「会員専用ページ」を立ち上げた佐藤道子様（元県光風）に謝意を表す。